別添１

○ 地域会館の設計案（設備・備品あり。説明付き）

Aタイプ
（ホール＆会議室ver.）

※ メーターモジュール。木質パネル工法を想定。各室の面積は内法面積（一部壁芯面積を併記）

◆会議室◆
最大24人程度（標準的には16人程度）での利用を想定。机と椅子を端に寄せれば、多目的での利用も可能。ホールとの一体利用時には、控室等としての使用も可

◆ユニバーサルトイレ◆
車椅子が回転可能で介助者と一緒にゆったり使える広さを確保。ベビーチェア、手摺り、目隠しカーテン、オストメイト等のほか、ユニバーサルシート（床固定式）を設置し、あらゆる利用者のニーズに対応

◇姿見（鏡張り）◇
身体を動かす活動に重宝な鏡を壁に設置（幅6.6m×高さ2m程度）

◇壁面式プロジェクタースクリーン◇
投影面が広く映画の上映も可能

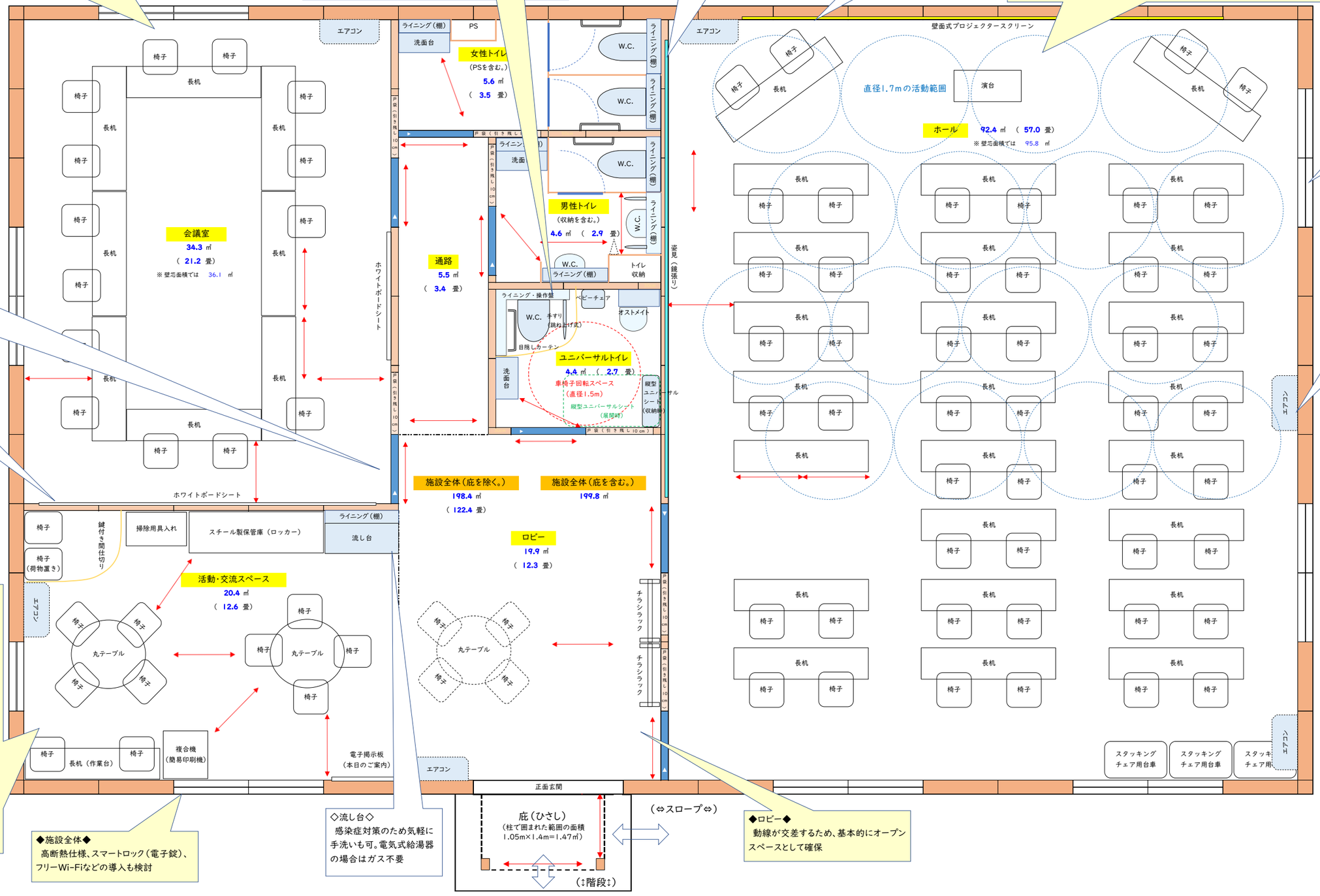
◆ホール◆
約96m²（壁芯面積）のホール。会議・研修等であれば50～75人程度、身体を動かす活動（エアロビ、フィットネス等）であれば24人程度（姿見（鏡）の使用を考慮すると16人程度）までの利用を想定。「直径1.7mの活動範囲」は、成人の平均身長（男性約168cm、女性約154cm。2019年国民健康・栄養調査による。）を参考に、身体を動かす活動に必要な1人当たりのスペースとして想定

◇窓（非常口）◇
出入りが可能な掃き出し窓（非常口）とすることも可。大型の備品の搬入・搬出、投票所として使う場合等も想定して判断（なお、出入口にする場合はスロープ等も必要）

◇戸・出入口◇
車椅子の利用に支障がないように、原則として90cmの幅（赤色両矢印）を確保できるように配慮

◇空調◇
建物自体に高い断熱性能を確保することを前提に、業務用より安価で故障時のリスクも分散できる家庭用（と同様の仕様）の空調の設置を想定

◇ホワイトボードシート◇
映写・書き消し・マグネットに対応



◆活動・交流スペース◆
生涯活動センターと同様のフリースペースを設置。原則無料で、打合せ、休憩、個人学習、囲碁将棋等での利用を想定。鍵付き間仕切りのスペースは、着替えや授乳で利用可能
職員の執務スペースとの関係では、設計段階の方針により事務室に転用（ドアと窓口を設けた間仕切り壁を設置）することも可能だが、原則としてフリーアドレス方式でそのまま使用することを想定（ノート端末等重要備品はスチール製保管庫（ロッカー）で保管）

◆施設全体◆
高断熱仕様、スマートロック（電子錠）、フリーWi-Fiなどの導入も検討

◇流し台◇
感染症対策のため気軽に手洗いも可。電気式給湯器の場合はガス不要

◆ロビー◆
動線が交差するため、基本的にオープンスペースとして確保